

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
(1) 自然						
① 山・川・田園風景に着目した「体験型」観光の推進						
1 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底	★	◎	○	○	○	シルバー人材センターに委託し、定期的に右田ヶ岳登山者が利用する右田小学校屋外トイレの清掃を実施
2 景観に配慮した案内板等の整備	★	◎				右田ヶ岳登山者に対するマナーアップ看板を駐車場に設置(5枚)
3 地元自治会などの関係団体と連携した自然環境の維持管理		○	○	○	◎	地域や関係団体と協力し、旧山陽道(佐野峠)の草木の伐採等を毎年2回実施【関係団体と協議し今年度はコロナ禍で中止】
4 四季ごとの眺望や景色のリアルタイムでの発信		○	◎			「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、市内の花の見頃の紹介動画11本を配信
5 モデル周遊プランづくりとツアー情報の発信		○	◎	○		雪舟ゆかりの自治体である山口市と島根県益田市と本市をめぐる「ガーデンツーリズムモニターツアー」の実施に向けた協議を重ねる。ツアーは11/20～21に実施
6 「まちなか登山」をキーワードにした大平山や右田ヶ岳等への登山誘客	★	◎	◎	○		新たなパンフレットの作成などの情報発信について下半期に検討
7 佐波川でのカヌーやキャンプ、バーベキューなどのアウトドア体験の発信		◎	◎	○		下半期に「チャリさんぽ」のメニューとして関係課と検討
8 右田、小野、大道地区等の田園風景などに着目したトレッキングやサイクリングの実施と発信	★	○	○	◎		
9 食材生産者との連携や協力による収穫体験や調理体験の実施及び発信		◎	○	◎		松田農園のみかん狩り情報を「たびたびほうふ」や山口県観光連盟による旅行関係者向けの観光素材集「西の国から」で発信
10 「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等への配布		◎	◎	○		魅力ある冊子の作成に向けて、下半期以降検討

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
② 「海」をキーワードにした観光の推進						
1 海辺を中心とした清掃等の環境保全活動の実施		◎	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・富海海岸にて委託による定期的な清掃活動を実施 シルバー人材センター(4月～6月、9月～3月の期間、週3回) 富海海水浴組合(7月～8月の期間、毎日) ・富海海岸にてボランティア清掃活動を実施 自治会連合会と行政による清掃(6/26)、自衛隊による清掃(7/13)、 地元企業主催による清掃(9/5)
2 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底	★	◎	○	○	○	富海海水浴場のトイレの清掃をシルバー人材センターに委託し定期的に実施
3 富海海水浴場や野島における案内看板等の整備	★	◎				富海海岸にマナーアップ看板を設置(10か所)
4 野島海運予備船「レインボーのしま」を活かした近海クルーズの実施	★	○	◎	○		上半期実施予定が、コロナ禍で不実施
5 海水浴や海洋レジャー、釣りや海の家など「瀬戸内海体験」の発信	★	○	◎	○		富海海水浴場を開設(7/17～8/15)し、市HPや「たびたびほうふ」で情報発信
6 高級料理「天神鱧」の旅行商品への組み込みによる認知度の向上		○	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・「鱧しゃぶセット」テイクアウトキャンペーンの展開(7/1～9/18 はも塾加盟店のうち9店舗で取扱い) ・アルク防府店で特製「天神鱧弁当」を200個限定販売(7/10、7/24) ・「維新饗宴弁当」を数量限定(各15食)で復活販売(6/15～7/10)
7 初夏の鱧や夏の虎魚(オコゼ)、冬の河豚(フグ)など瀬戸内海ならではの食体験を組み込んだ旅行商品の企画及び販売支援	★	○	◎	○		関係団体と旅行商品化に向けて下半期以降検討
8 「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等へ配布		◎	◎	○		魅力ある冊子の作成に向けて下半期以降検討

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
③ 観光客や市民に資源の魅力や価値を最大限に伝えるプロモーションの推進						
1 身近な自然が気楽に楽しめることを市民や県民に向けて宣伝		◎	○	○	○	「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで上半期に市内の花の見頃の紹介動画を配信(11本)
2 テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信	★	◎				FMわっしょいに毎月出演し、防府市の魅力やイベント情報の発信
3 インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化	★	○	○	○	◎	「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで上半期に市内の花の見頃の紹介動画を配信(11本)
4 近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼	★	○	◎			「ウエストエクスプレス銀河」ツアー中に空き時間が生じるため、その間にできる防府の観光プランについてJRと協議中
5 賑わいを創出する団体等への断続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力		○	◎	○		観光振興協定を締結している周南市と実施するドライブスタンプラリーのスポットに大平山と富海を組み込み、本市の自然の魅力をPR
6 道の駅潮彩市場防府におけるおすすめ旬魚情報の発信		◎	◎	○		6月に潮彩市場防府の指定管理者である山口県漁業協同組合による魚食普及イベント(魚のさばき方教室)をルルサス防府で開催
7 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致	★	◎	◎	○		上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドやクルーズ船誘致に向けた取組は不実施。下半期は、商談会等でクルーズの主催団体や旅行会社等へのPRに向け、豊かな自然を活かした本市ならではの体験メニューについて検討予定

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
(2) 歴史						
① 防府天満宮と周辺の参道等の回遊性向上						
1 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底	★	◎	○	○	○	毛利氏庭園(園内、駐車場)、阿弥陀寺のトイレ清掃をシルバー人材センターに委託し定期的実施
2 景観に配慮した案内板等の整備	★	◎				来年度からの整備に向けて調査中
3 参道の街並みや景観の美化		○	○	○	◎	上半期は実施なし。11月の「すごいぞ！防府 秋の大イベント」開催前に防府天満宮から毛利氏庭園に至るエリアで一斉清掃を実施予定(11/3)
4 駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進		○	◎			上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により観光客が少なく、サンプルデータが収集できなかったため検討に至らず
5 高齢化やまち歩きに対応したベンチや日よけなど休憩場所の増設(幸せますステーションを含む)	★	○	◎	○		上半期に幸せますステーションの認定店舗は無し。下半期も引き続き幸せますステーション認定店舗増加や休憩場所の増加に向け取り組む
6 着物の着付けや歴史ガイドツアー等「体験型観光」の推進		◎	◎	○		「学旅(まなたび)」第一弾「宮市コース」を9月に5回開催。 下半期も「富海コース」や「三田尻コース」のほか、「しあわせ大人女子旅」や「おもいで着物体験」「ふれあいウォーク」といった体験ツアーを実施予定
7 観光客の喜ぶストーリーあるモデル周遊プランづくりとツアー情報の発信		◎	◎	○		
8 食べ歩きメニューや、歴史をモチーフにしたメニューの開発と観光客等への提供		○	○	◎		「山口ゆめ回廊博覧会」期間限定のまち歩きツアー「重要文化財旧毛利家本邸・名勝毛利氏庭園を隅から隅まで楽しむ」ツアー参加者に、毛利邸に伝わるよもぎ餅を提供
9 四季ごとの眺望やSNSで映える景観の発信		◎	○	◎		「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、市内の花の見頃の紹介動画11本を配信
10 伝統の祭り等(花神子社参式や腰輪おどりなど)を地域の魅力と一緒に発信		◎	◎	○		防府天満宮の七夕まつりや万灯の夕べを「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで発信(新型コロナの影響で伝統の祭りの多くは中止)

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
② 防府天満宮から旧毛利家本邸など周辺施設への誘客						
1 景観に配慮した案内板等の整備	★	◎	○			来年度からの整備に向け調査中
2 レンタサイクルサービスの充実		○	◎			観光者により多くの観光施設を巡っていただくことを目的としたレンタサイクルの利用時間と利用料金の改定(10/1実施)
3 駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進		◎	◎	○		上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により、大きなイベントがほとんどなく、駐車場は十分確保できていたため、当該システムの検討は行っていない
4 観光地や駐車場の位置が一目で分かる観光看板の設置や地図システムへの登録	★	◎	○			下半期から現状調査を実施予定
5 毛利元就没後450年や重源上人生誕900年の歴史的節目を活かした観光発信	★	◎	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> 毛利敬親公没後150年記念企画展を盛り上げるため、はも塾加盟店の協力による「維新饗宴弁当」のお披露目会実施(6/21) 毛利元就公没後450年記念企画展のオープニングセレモニー実施(7/17) 市広報(毎月1日号)に毛利元就公没後450年や重源上人生誕900年の特集記事を掲載 「ほうふホットライン」に出演し、重源上人や、ゆかりの阿弥陀寺をPR 秋に実施予定の重源上人生誕900年記念イベントに向け、協議会を設立し協議会を開催(3回)
6 文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介		○	◎	◎		日本武道演武実行委員会、市剣道連盟ほか関係団体と協力し、毛利氏庭園で「日本武道演武会in毛利氏庭園」を開催。(10/3)
7 防府天満宮を含む「すごいな!すごいぞ!防府」4観光施設のほか、その他観光施設を活かしたイベント等の実施	★	○	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> 「すごいぞ防府!秋の大イベント」開催に向けた関係団体との協議 防府観光コンベンション協会による「阿弥陀寺PR動画コンテスト」を実施(6月~8月)
8 歴史ファンを取り込むためのストーリーのある各種イベントの実施(サブカルチャーを含む)		○	◎	○		下半期以降、文化財課やコンベンション協会と来年度以降の実施に向け検討予定

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
9 専門家等を招へいた歴史講演等の実施		◎	○	○		専門家を交えたトークショーを盛り込んだ重源上人生誕900年記念イベント「重源フォーラム」(11/14開催)に向けた関係者協議を実施
10 テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信	★	◎	◎	○		・FM山口番組「コージネス」に出演し本市の魅力をPR(3回) ・山口ケーブルビジョン番組「ほうふほっとライン」に職員が出演し、阿弥陀寺をPR ・毛利敬親公没後150年記念企画展及び「維新饗宴弁当」お披露目会や、毛利元就公没後450年記念企画展をテレビや新聞で発信
11 インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化	★	○	◎	○		・英雲荘での観月会をオンラインで配信(9/21) ・毛利博物館の企画展や防府天満宮の七夕祭などを「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで配信
12 近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼	★	◎	◎	○		新型コロナウイルス感染拡大の影響で、上半期は実施できず。コロナの収束状況を踏まえ、下半期に旅行会社等への観光地の売込みを行う予定
13 明治維新150年事業で商品化した「日英饗応料理」の再商品化やストーリーの再構築		○	◎	◎		「日英饗応料理」をアレンジした「維新饗宴弁当」をはも塾加盟店有志の協力で開発し、毛利博物館でお披露目会を実施(6/21)
14 「日英饗応料理」などの認定歴食への申請		○	◎	○		歴食イベントへの参加について、防府観光コンベンション協会や、はも塾関係者と下半期に協議予定
15 観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成	★	○	◎	○	○	防府観光コンベンション協会による、ガイド付き庭園散策ツアーを実施(実践を通じて新人ガイドの育成)
16 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致	★	◎	◎	○		上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドやクルーズ船誘致に向けた取組は不実施。下半期は、商談会等でクルーズの主催団体や旅行会社等へのPRに向け、「歴史のまち防府」ならではの体験メニューについて検討予定

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
③ 広域連携						
1 雪舟・大内文化のPR(山口市の県立美術館、本市の毛利博物館)		◎	○	○		雪舟ゆかりの自治体である山口市と島根県益田市と本市をめぐる「ガーデンツーリズムモニターツアー」に向けた協議を重ねる。ツアーは11/20～21に実施
2 山口ゆめ回廊博覧会を契機とし、県央部の市町と連携した広域観光プログラムの造成と発信	★	◎	○	○		定期的な協議会を開催し、「山口ゆめ回廊博覧会(令和3年7月～12月)」終了後の新たな広域観光の展開について協議中
3 毛利氏庭園の庭園間交流連携促進計画(通称:ガーデンツーリズム)への登録を生かして、雪舟ゆかりの自治体と連携した広域での情報発信		◎	○	○		雪舟ゆかりの自治体である山口市と島根県益田市と本市をめぐる「ガーデンツーリズムモニターツアー」に向けた協議を重ねる。ツアーは11/20～21に実施
4 賑わいを創出する団体等への断続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力		○	◎	○		県央連携都市圏域内自治体と連携し、「山口ゆめ回廊博覧会(7月～12月)」開催期間中の各市町のイベント情報の広報紙等への相互掲載を実施

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
(3) スポーツ						
① 「自転車」に着目したスポーツの推進						
1 観光資源として来場者が楽しめる機能をもつ競輪場の整備		◎				下半期に、令和6年夏の新メインスタンド等の完成(令和6年夏予定)に向け、設計に着手予定
2 市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討		◎				下半期以降に事業の進め方について関係課と検討
3 トップアスリートとの交流イベントの実施		○	○	◎		防府競輪場において、市民がバンク走行などを体験できる「Feel so KEIRIN～競輪選手になれるかも～」を日本競輪選手会山口支部が実施(6/13)
4 サイクリングターミナルを拠点とし、佐波川自転車道を利用したサイクリングコースやトレッキングコースの設定とコース冊子の作成	★	◎	◎	○		下半期に、「チャリさんぽ(トレッキング)」の新たなコースとして検討予定
5 サイクリングターミナルを拠点とした自転車クリニック等の実施	★	○	◎	◎		下半期に、実施時期や方法等について、指定管理者等と協議予定
6 競輪場の空間活用と情報発信		◎	○			新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「防府競輪夏祭り」は実施できず、下半期に、「帰ってきた！防府競輪夏祭り」を「自転車祭り2021」に合わせて開催予定(11月)

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
② 防府読売マラソン大会の認知度と魅力の向上						
1 市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討		◎				12月の防府読売マラソン大会の開催前にコースとなる道路を点検予定
2 トップアスリートとの交流イベントの実施		○	◎	◎		・「実業団トップランナーと走ろう 佐波川ロード記録会」を開催(10/10) ・一流選手を講師に招き、陸上競技教室を開催(10月～11月)
3 情報発信による集客力の向上		◎	◎	○		・エントリーに係る情報をHPを通じて、こまめに発信 ・市広報に特集記事を掲載予定
4 防府読売マラソン大会の開催にあわせた出店等による飲食機能の充実		○	◎	◎		新型コロナウイルス感染状況をみながら、下半期に防府読売マラソン大会の開催に合わせた飲食関係の出店について関係者と検討
③ 施設の効果的な活用						
1 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底	★	◎	○	○	○	シルバー人材センターや指定管理者による定期的な清掃を実施(防府競輪場やソルトアリーナなど)
2 駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進		◎	◎	○		上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により、大きなスポーツイベントがほとんどなく、駐車場は十分確保できていたため、当該システムの検討は行っていない
3 スポーツゾーンに適した周辺インフラ等の検討		◎				陸上競技場、人工芝多目的グラウンド、武道館の電気設備改修及び陸上競技場、屋外トイレの下水道接続工事を実施(8月～12月)
4 ソルトアリーナ防府を中心としたスポーツゾーンの近隣市町への売り込み		◎	◎	○		施設を一括したパンフレットを、指定管理者が新規作成予定
5 学生や実業団などへのスポーツ合宿等の誘致		◎	◎	○		スポーツ協会を通じた積極的な誘致により、実業団(8社)が市内で合宿を実施

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
④ プロモーションの推進						
1 レノファ山口U-18など市内で活動するプロ等の情報の発信		○	◎	○		防府市サンクスデーを通じたレノファ山口の情報を発信(7/17)
2 テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信	★	◎	◎	○		セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての本市の各種取組についてテレビや新聞で随時発信
3 インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化	★	○	◎	○		セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての本市の各種取組について、フェイスブックで随時発信
4 賑わいを創出する団体等への断続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力		○	◎	○		セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとして、チームの情報のほか、セルビアの情報もメディアに発信
5 オリンピックイヤー等の国際イベントを活用した賑わい創出		○	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック期間中、アスパラート内に歩道から見える状態でTVモニターを設置(10台)し、オリンピック中継を放映 ・飲食店を中心に市内の店舗に「セルビア女子バレーボールチームの応援ボード」の設置の協力をお願いするなど、オリンピックムードを盛り上げる仕掛けを展開 ・ルルサスやデザインプラザでセルビア女子バレーボールチームの試合の「パブリックビューイング」を実施
6 セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての露出拡大		◎	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本市での東京五輪事前合宿(7/16～22)の情報発信 ・防府駅周辺でのセルビア応援のライトアップ実施(7/22～8/8) ・市広報7/1号でセルビア女子バレーボールチーム特集記事を掲載 ・合宿期間中を中心にSNSで情報発信
7 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致	★	◎	○	○		上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドやクルーズ船誘致に向けた取組は不実施。下半期は、商談会等でクルーズの主催団体や旅行会社等へのPRに向け、防府ならではのスポーツ等の体験メニューについて検討予定

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
(4) 生活文化						
① 地域資源の観光への活用						
1 観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成	★	○	◎	○	○	防府観光コンベンション協会による、ガイド付き庭園散策ツアーを実施(実践を通じて新人ガイドの育成)
2 新春の一大文化イベントである「防府音楽祭」の情報発信の強化		◎	○	◎		今年4月に「音楽のまち創造プロデューサー」として迎えた元東京都交響楽団首席チェロ奏者・田中雅弘氏と連携し、「防府音楽祭」の情報発信強化に向けた協議を下半期より本格化させる。
3 文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介		○	◎	◎		日本武道演武実行委員会、市剣道連盟ほか関係団体と協力し、毛利氏庭園で「日本武道演武会in毛利氏庭園」を開催。(10/3)
4 映画館を活用したイベントの開催		○	◎	◎		下半期以降、イベント内容等について検討
5 観光と文化に貢献する山頭火ふるさと館の運営	★	◎	○			企画展「全国津々浦々 山頭火の句碑をめぐる」(4/10～6/27)と「山頭火に出会った人々」(7/2～10/17)を開催したほか、山頭火ふるさと館フォトコンテストなど3つのイベントを実施
6 山頭火ふるさと館の施設改善	★	◎				ギャラリーショップのリニューアル(駄菓子コーナー・コスプレコーナーの新設など)のほか、キャッシュレス決済の導入(4月)
7 文化財発掘や文献研究等の成果発表や、注目すべき成果の各種メディアを使った発信		◎	○	○		下半期に文化財課と成果発表の時期等について協議予定
8 華道や鋳物文化などの地域の伝統文化の収集と発信		◎	◎	○		・「山口ゆめ回廊博覧会」開催期間中限定のまち歩きツアー「ゆめ散歩」で、鋳物体験と地酒飲み比べプログラムの実施 ・イベント(ドライブスタンプラリー等)の賞品に、蛸壺や鋳物、地酒などを設定することによる伝統文化や伝統産業のPR
9 賑わいを創出する団体等への断続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力		○	◎	○		観光振興協定を締結している周南市と実施するドライブスタンプラリーにおいてしょうゆや酒を賞品として選定し、地元の伝統産業をPR

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
10 地域に眠る食文化の発掘と商品化		◎	◎	○	○	下半期以降、情報収集から始める
11 市民総参加で盛り上がる防府おどりや「幸せますフェスタ」の開催	★	○	◎	○	○	新型コロナウイルス感染拡大の影響のため防府おどり及び「幸せますフェスタ」いずれも中止
12 市南部の工業地帯や三田尻塩田記念産業公園を活かした産業観光の推進		◎	◎	○		山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント(新山口駅で開催)において、来場者に観光パンフレットと三田尻塩田記念産業公園で製造した塩を配布し、三田尻塩田記念産業公園(塩づくり体験)をPR(7/3~4)

取組内容	重点	実施主体				R3年度(上半期の主な取組状況)
		行	観	民	住	
② 地域資源のプロモーション・市民への普及						
1 市民と観光客が資源の魅力・価値を再発見する「観光プラットフォーム」の開発		○	◎	○		下半期以降、「観光プラットフォーム」についての研究から始める
2 テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信	★	◎	◎	○		山頭火ふるさと館や毛利博物館で開催される企画展やイベント、「維新饗宴弁当」のお披露目会等を新聞やテレビで発信
3 インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化	★	○	◎	○		防府市観光情報ポータル「たびたびほうふ」で、着物体験や藍染体験の情報発信
4 防府「逸品食」に関する企画立案と新たな食文化の観光への取り込み	★	◎	◎	○		下半期以降、「逸品食」の定義付けや今後の取組について検討
5 「(仮称)防府ライフスタイル」認定に関する制度設計や防府市観光振興推進協議会等との連携による候補の選定			◎	○	○	「防府ライフスタイル」の定義付けから制度設計等について、下半期以降検討
6 「(仮称)防府ライフスタイル」の後世への継承活動			◎	○	○	
7 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致	★	◎	○	○		上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドやクルーズ船誘致に向けた取組は実施できず。下半期は、鋳物体験や和装体験など本市ならではの体験メニューを、商談会等が実施された際にクルーズ船主催団体や旅行会社にPR